

# STEP BY STEP

カルロス・ゴーン氏の国外脱出という、映画のような、漫画のような衝撃の(笑撃の?)ニュースで年が明けました。メディアはこぞって、脱出の方法、国外逃亡の理由、を報じました。ゴーン氏のレバノンでの記者会見、海外で沸き起こった日本の人質司法への批判を受けて、森法務大臣は「本当に潔白なら(日本の)裁判で無実を証明すべき」と発言しました。この「証明すべき」という言葉はすぐに「主張すべき」と訂正されましたが、潔白を証明するのは容疑者ではなく検察側です。

この騒動に甲南大学の笹倉香奈教授が的確な指摘をしているのでご紹介します。「弁護士が取り調べに立ち会えないことや、長期拘留への批判は国内外で繰り返されてきた。法務・検察当局は、そうした声が強まるのを懸念しているようだが、指摘は真摯に受け止めるべきだ。法相の記者会見や東京地検のコメントは、自分たちに都合のよいことばかり発信している。検察は司法の透明性を高める取り組みを怠っており、不信感を持っているのはゴーン被告だけではない。これを機に問題点を改善できるかどうか日本社会に問われている。」

非常に簡潔で的確な指摘です。ゴーン氏の国外脱出の背景にあるのは間違いなく、日本の司法制度の闇です。2020年は大きな転換点の年にしていきたい。そんな願いを込めて「冤罪犠牲者の会」会員通信第3号をお届けいたします。

## ■冤罪犠牲者の会 実現目標

- (1) 裁判当事者への証拠閲覧権付与
- (2) 再審決定後の検察上訴権廃止
- (3) 国会における冤罪原因調査委員会設置
- (4) 捜査関係者(偽証・証拠のねつ造・改ざんに関与した者)の処罰法制定
- (5) 再審審査会の設立と証拠管理の厳格化(再審判断を第三者の手に委ねる)

## ■冤罪犠牲者の会ホームページが移転しています。

<https://enzai.org/>

皆様のお住まいの地域でイベント情報などあれば、ホームページで紹介しますので、チラシのデータ(JPEGが有難いです)を当会へお送りください。メールアドレスは下記になります。

[info@enzai.org](mailto:info@enzai.org)

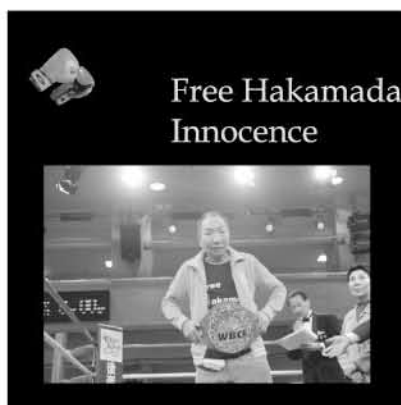
## ■冤罪犠牲者の会の事務局は下記に転居しました。電話番号は変更なしです。

〒160-0023東京都新宿区西新宿7-5-13 第3工新ビル201号室(桜井司法研究所内)

TEL. 03-6278-9796 FAX:03-6278-9798

## ■いよいよCD「Free Hakamada」が発売開始!

正体不明の謎のバンド「Nowhere Man」によるCD「Free Hakamada」がAmazonや全国のCDショップで注文できるようになりました。日本プロボクシング協会公認の袴田巖応援ソング(インスト)が2曲入り。若き日の袴田さんがグラブをつけてリングに駆け上がってくるようなイメージの曲です。このCDの売り上げは、冤罪撲滅を目指す各団体への寄付、日本で唯一の冤罪ラジオ番組「塀の中の白い花」の電波使用料に使用させていただきます。(なつし聡)



WBCから贈呈された名誉チャンピオンベルトをつけた袴田巖さんがジャケット

2月8日(土)に開催されました、冤罪犠牲者の会主催イベント「山際永三講演会」については、ホームページや次号でご報告させていただきます。

## 「冤罪作り」「冤罪隠し」 という最恐犯罪の真実

人は誤りを犯す。他人を騙すし、罪も犯す。組織は人の集まり。大きくなればなるほど誤りも、騙しも、罪も複雑怪奇だ。特に、組織が大きく、公権力を持ち、エリートと自他共に許し国民や過半のマスコミまでマインドコントロール下に置き、あり得ない無謬性を標榜する組織ほど闇も深く、法的にも守られ、証拠による真相究明は至難を極める。その代表の1つが刑事司法機関であり、一番悪弊強きが警察である。

私は不幸なことに、この警察の末端警察官である交通取締り女性巡査の違法取締りに順法に反論しただけで、あろうことか暴行・傷害の虚偽告訴をされた。その後警察、検察による虚偽文書により裁判官に不当逮捕、不当勾留、不当勾留延長という人質司法の下に置かれ、とどのつまりは検察官に刑事司法機関にとって都合の良い虚偽自白調書を作成され、拒否すれば起訴して有罪かつ長期勾留されると脅され、その自白調書へのサインを強要されたのである。その結果、不当起訴猶予という前歴となる刑事処分を下されたのである！

原事件で刑事事件を担当した2人の弁護士に相談すると、警察・検察に対する刑事告訴は、即、棄却される。国家賠償裁判は勝てないから、自分達は引き受けないと言われたのである。その後も3弁護士に相談したが、いずれも拒絶された。

一念発起して、私自身で訴状を出すも支援組織から、やはり弁護士を付けねば、国賠裁判はすぐに棄却されると教示され、2人弁護士を付け、事件から9年余の「冤罪隠し(洗浄)」とも言うべき国賠裁判を闘ったのである。

このように、長く「冤罪作り」「冤罪隠し」という警察・検察・裁判所の最恐犯罪に遭遇し闘ってきた者として、その過程で知った真実の一端を、一般の国民に知らせることはある種の義務であると感じるのである。まずは、冤罪作りの5つの型について、解説しておきたい。冤罪豆知識その1として。

## 冤罪豆知識①—警察・検察の動機 による「冤罪作り」5パターン

### 1. 証拠未確認・被害鵜呑み型

被害を訴える者の言、目撃者の言をひたすら鵜呑みにして、科学的捜査を欠落させ、かつ証拠に拠ることなく実際は、無実の人を不当逮捕、不当勾留して、不当起訴、不当有罪にする。最低の警察・検察・裁判官の犯罪でしか無い。

例)痴漢冤罪沖田事件、痴漢冤罪矢田部事件他痴漢事件多数

### 2. 事件・事故誤認型

人が死ぬなどという、事故・事件が発生した場合、警察は当然、事故と事件両面から捜査する。しかし何らかの要因で、事故を事件と、事件でも犯人を間違えることがある。しかし、警察・検察は、一度下した判断を、一度不当逮捕・不当勾留して起訴・有罪に持ち込んだ事件を、威信にかけても死守しようとする。冤罪犠牲者の悲劇を救済するためにも必要なのに、姑息な無謬主義が再捜査・再審を妨げるのである。

例)大崎事件、東住吉事件、北陵クリニック事件、湖東記念病院事件他

### 3. 重大事件解決偽装型

殺人や強盗、強姦など、重大かつ警察の威信をかけた事件の解決が迫られているのに未解決の期間が長くなると、警察・検察は、何としても犯人を逮捕しようとする。確固たる証拠が無

くとも、状況証拠などにより無実の人を逮捕、勾留してしまう。そして、長い不当勾留という人質司法の下に置き、脅し、詐欺、誘導によりその無実の人に虚偽の自白を引き出し、犯人に仕立て上げる。これが日本に特殊な人質司法の下での自白制度の実態。真犯人の逮捕は二の次で組織の体面を最優先する。冤罪犠牲者は蟻地獄の様な苦しみを味合わせられ、人権を全て失い、人生の大半を失うのである。

例) 布川事件、狭山事件、氷見事件、足利事件、袴田事件、今市事件他

#### 4.身内不祥事(事件・事故)拘替え型

警察・検察の組織もしくは個人が故意または重大な過失で、事故もしくは事件を起こした場合組織はそれを認めて謝罪、賠償、是正措置を取れば良いのである。しかしそれができないのが、警察・検察の困った宿痾なのである。その事故・事件の被害者を不法にも加害者に仕立て上げ、警察・検察の加害行為を無答責にするだけで無く、逆に正当化し手柄に拘り替えてしまうのである！ 独占的、強過ぎる職権を持つが故の冤罪作りの中でも悪質度の高い犯罪なのである。

例) 高知白バイ事件、萩原流行バイク転倒事件、築地署公妨・傷害冤罪事件他

#### 5.弾圧策略(特高)型

上級機関より、政権与党の政策の妨げになる団体、組織、個人の運動を弱体化させるよう指令が下り、秘密裏に策略を練り実行に移される。

例) 松川事件、志布志事件、国公法堀越事件、横浜事件、大本教事件、レッドページ事件他  
(二本松進)

### ■「冤罪・鈴鹿殺人事件をご存知でしょうか？」

この事件は2012年11月13日に三重県・鈴鹿市で通販会社経営者のT氏が何者かによって殺害された事件です（この事件は三重県下では大々的に報道されましたが他の地では全く報道されなかったためにご存知ない方が大半のことと思います）。犯行時間とされる少し前にT氏に貸してあったお金を返してもらうために訪問しただけで、共同経営者である加藤映次（私の息子）が犯人として疑われ殺人犯にされてしまったのです。何の直接物証も自白もなく、被害者は頭を何度も殴打され、血だらけの状態で見送られたにも関わらず息子からは血痕やルミノール反応も一切なかったのに。

ずっと無実を訴えてきました。一審の津地裁では当時最長の裁判員裁判となり罪を認めないから嘘つきだと言われ懲役17年の刑が言い渡されました。その後名古屋高裁・最高裁と闘ってきましたが、アリバイがあるのに何ら審理されることなく、刑が確定し現在は長野刑務所での服役を余儀なくされています。

息子は5人家族。子供（3人）の成長を楽しみに事件の少し前には家を新築したばかり…。それが、あの日を境に地獄の苦しみが始まったのです。連行されてから1年9ヵ月の間、家族との接見が禁止となり、幼い子供とローンを抱えて嫁（妻）の苦労は大変なものです。7年半もの月日がたち孫達も大きくなりましたが。

冤罪という言葉は知っていてもそれが自分達の身に降りかかってくるなど夢にも思っていませんでした。布川事件の桜井氏や東住吉事件の青木さん、救援会・愛知県本部、そして多くの方々に支えられています。再審請求に向け準備中です。一条の光でも多く集まれば明るい未来へと繋がります。この事件を知ってください。冤罪に興味を持ってください。諦めることなく最後まで闘います。再審法改正をめざす冤罪犠牲者の会の活動に期待します。（加藤映次 母・由紀）

■冤罪ラジオ番組『塀の中の白い花～ほんとに何もやってません』は番組延長を目指してクラウドファンディング実施中！

日本で唯一の冤罪ラジオ番組『塀の中の白い花～ほんとに何もやってません』はFMたちかわから第1・3・5月曜日23時半に放送中。ただし、この番組は全国放送ではありません。放送エリアは限られています。しかし、ネットがあれば世界のどこでも聴けるサイマル放送で、地球の裏側でも聴けるという摩訶不思議な仕組みに支えられています。

この番組では現在、クラウドファンディングを実施中です。年末より、クラウドファンディングサイト「READYFOR」にて、「なくせ冤罪！冤罪について語り合うラジオ番組の継続を！」というプロジェクトをスタートさせました。番組を通じて、世の中には日の当たる事件とそうでない事件があるということを知りました。世間に知られていない事件にスポットを当てて、多くの方々に知っていただくためにも、この番組はもう少し続けていかないといけないと、決意を新たにしているところです。

クラウドファンディングは、2月24日に終了します。残り10日足らずです。最終日までに目標金額に到達しないと、これまでいただいているご支援も、支援いただいた方々にお返金されてしまうという仕組みになっています。

プロジェクト終了までに、ご支援・ご協力をお願い致します。賛同していただければ幸いです。ご協力ください。どうかよろしくお願い致します。URLは下記になります。（なつし聡）

<https://readyfor.jp/projects/nomoreenzai>

== 冤罪犠牲者の会は当会の主旨に賛同していただける仲間を集めています！ ==

「冤罪犠牲者の会」が結成されたのが昨年3月2日。お陰様で少しずつ会員が増え、現在、80余名。冤罪に巻き込まれてしまった方、冤罪犠牲者を支援している方、冤罪撲滅に力を貸して下さる方、などで構成されています。冤罪に関心をお持ちの方がお近くにいらっしゃったら、声をかけてあげてください。

年会費：個人会員（正会員）2000円 賛助会員1口1000円

#### 「冤罪犠牲者の会」の口座

◎現金払込・ゆうちょ間送金の場合

記号番号 00150-7-515181

口座名称 冤罪犠牲者の会

名前 冤罪犠牲者の会

◎他行からの送金の場合

金融機関 ゆうちょ銀行（金融機関コード 9900）

支店 ○一八店（ゼロイチハチ店）店番 018

預金種目 普通

口座番号 9884160

口座名義 エンザイギセイシヤノカイ

◎PayPalでの振り込みは当会ホームページの「当会について」から「入会のお申込み」ページにある、「会費支払方法」をご参照ください。



中村千恵子さんの絵手紙

発行：冤罪犠牲者の会

〒160-0023東京都新宿区西新宿7-5-13 第3工新ビル201号室（桜井司法研究所内）

<https://enzai.org/> e-mail : [info@enzai.org](mailto:info@enzai.org)

発行責任者 なつし聡

追記「お知らせ」

**2月24日(月・休) 午後1時 狭山事件の再審を実現しよう 市民のつどい 関西**

場所：エルシアター (エル・おおさか/ 大阪府立労働センター)

登壇：林力(ハンセン病家族国賠原告団長)、鴨志田祐実(大崎事件弁護団事務局)、  
石川一雄(狭山事件)、袴田ひで子(袴田事件)、他

**2月25日(火) 午後2時30分 布川国賠第2回口頭弁論 (東京高裁)**

<当日の行動予定>

12:30～13:30 裁判所前宣伝行動

13:30～14:00 裁判所要請行動

14:30～ 裁判

終了後 報告集会(ハロー貸会議室虎ノ門)

場所:第二興業ビル3階「虎ノ門1丁目」交差点角、1階東京カップ

**2月26日(水) 午後1時 乳腺外科医師冤罪事件公判 (東京高裁)**

**2月29日(土)～3月1日(日) 今市事件第2回全国現地調査**

集合場所：下記のいずれかの場所に集合してください。

29日正午/宇都宮駅

午後2時/水戸駅

午後3時/常陸大宮市の遺体発見現場

3月1日 午前9時/学習会(おおみやコミュニティーセンター)

問い合わせ 070-4494-6116(橋本)

皆さんの関わっている事件の裁判、イベント情報などをお寄せください。会報やホームページに掲載いたします。

冤罪犠牲者の会 〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-5-13 第3工新ビル201

桜井司法研究所内

info@enzai.org